

# カンムリウミスズメ

## シンポジウム2017 in かみのせき

Kaminoseki the Seto-Inland sea. Yamaguchi pre. JAPAN

### 【日程】

● プレイベント：7月1日(土)

#### 船上観察会

- 10:00 白浜港集合
- 10:30 一般参加者コース出発
- 12:00 昼食休憩
- 14:00 白浜港帰着

● シンポジウム：7月2日(日)

#### 上関町総合文化センター 多目的ホール

10:00~16:30 (道の駅 上関海峡となり)

#### 10:00 カンムリウミスズメ講座

- 中村 豊さん 「カンムリウミスズメってどんな鳥？」
- 武石 全慈さん 「山口県上関町海域のカンムリウミスズメ」
- 山本 裕さん 「日本の海鳥の状況とカンムリウミスズメ保護の必要性」

11:00 質問コーナー

11:30 昼食休憩

13:00~16:30 シンポジウム

#### カンムリウミスズメ

*Synthliboramphus wumizusume*

絶滅危惧II類 (IUCN), 絶滅危惧II類 (環境省), 絶滅危惧種 (水産庁), 絶滅危惧IA類 (山口県), 種指定・国天然記念物

全長24 cm。日本、韓国南部に分布。推定生息数は5,000~10,000羽とされ、ウミスズメ類のなかで、最も絶滅が危惧されている。上関町周辺海域では、通年観察される。

{ 上関の希少野生動物・レッドリスト上関 2016 } より

### 【講師】

山口 典之(やまぐち のりゆき)

長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科准教授

「ジオロケーターにより明らかになったカンムリウミスズメの移動経路」

中村 豊(なかむら ゆたか)

NPO法人宮崎野生動物研究会副理事長

「枇榔島でカンムリウミスズメに付けた足環から得られた成果」

武石 全慈(たけいし まさよし)

北九州市立自然史・歴史博物館学芸員

「山口県上関町海域のカンムリウミスズメ」

山本 裕(やまもと ゆたか)

公益財団法人日本野鳥の会自然保護室

「カンムリウミスズメの新たな個体数調査方法と人工巣設置の取り組み」

千嶋 淳(ちしま じゅん)

道東鳥類研究所代表

「北海道東部のカンムリウミスズメと海鳥」

佐藤 仁志(さとう ひとし)

日本野鳥の会副会長、日本野鳥の会島根県支部支部長

「島根県におけるカンムリウミスズメの調査結果について」

長谷部 真(はせべ まこと)

北海道海鳥保全研究会代表

「天売島のウミスズメ繁殖確認への道」

### 【参加費】

無料 (運営のためのカンパを歓迎します。)

大槻 都子(おおつき くにと)

海鳥保全グループ代表、太平洋海鳥グループのアジア・オセアニア地区代表

「国際的な視点からみた上関エリアの重要性と課題」



お問い合わせ 高島美登里 090-8995-8799  
〒742-1403 山口県熊毛郡上関町大字室津 1103-5  
E-mail midori.t@crocus.ocn.ne.jp

上関の自然を守る会

<https://kaminosekimamoru.jimdo.com>

